

2022年度 美術学部 建築学科 カリキュラムマップ

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) 大学全体		美術学部 建築学科					美術学部 建築学科				
							(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
<p>学部の教育課程が定める授業科目を履修し、基準となる単位数を修得した学生に「学士」の学位を授与する。これによって、以下の能力、知識および態度等が身につけていることを保証する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>すべての人々が共生する社会の実現に資する意志や態度。</li> <li>すべての人々が共生する社会の基盤となる専門分野における知識、技能およびこれらを実践的に活用する能力。</li> <li>すべての人々が共生する社会で必要となる教養。</li> <li>課題探求能力をもって自ら問題を発見し、論理的に思考し、解決に導く態度。</li> <li>身のまわりや地域にある様々な問題に関心を持ち、自己の意見を的確に表現するとともに、自らの責任を自覚し、問題解決のためにすべての人々と協働することができる態度。</li> </ol>		<p>美術学部建築学科は、建学の精神および星槎の三つの約束に基づき、それぞれの教育課程が定める科目を履修し、以下の知識・能力・態度を身につけ、定められた授業科目を含む124単位以上、通算GPAが1.2以上を満たした者に「学士(建築学)」の学位を授与する。</p>					<p>社会の要請に応える人材として、建築に関する知識や技能を修得し、それらに関連づけて体系的に理解している。(知識・技能)</p>	<p>共生社会の実現に寄与できる人材として、建築学に関する専門的な知識や技能のみならず幅広い教養を身につけている。(知識・技能)</p>	<p>社会や地域が直面する社会的・文化的課題を建築学の視点から発見・分析し、建築のプロフェッショナルとして、それらの解決策を構築し提案できる。(思考力・判断力・表現力等)</p>	<p>社会・地域・所属する組織における目的の実現に向け、必要なりーダーシップとコミュニケーション能力を身につけている。(主体性を発揮して多様な人々と協働して学ぶ態度)</p>	<p>「建築デザイン」と「ものづくり」について高い意欲と幅広い関心を持ち、社会の中で自らの課題に主体的に取り組む態度が身についている。(主体性を発揮して多様な人々と協働して学ぶ態度)</p>
科目区分	ナンバリングコード	授業科目	単位数	年次	必修・選択別	授業の到達目標					
基幹科目	APT311001	基本製図	2	1	必修	図面作成の基礎的能力、木造建築の基本図面の理解と作図方法ならびに期限内課題提出のための基本的自己管理能力を習得する。	○				
基幹科目	APT311002	建築設計製図	2	1	必修	時間内に課題を完成させることができ、期日を守ることの重要性を身に付ける。木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨構造の設計図面の描写や技法が製図規約に従って、正しく表現できる。	○	○			
基幹科目	APT311009	北国の建築と住まい	2	1	必修	北国の住宅の多様さを知り、設計・デザインする手法と技術を学び、これからの住まいのあり方と設計手法を修得できる。また、北国の建築や住宅の見学と観察から現状と問題点を探ることができる。	○		○		
基幹科目	AHD311005	建築史	2	1	必修	膨大な建築歴史資料を網羅することは難しいものの、その一端に触れることで建築の歴史の側面に関連付けられる興味に発展し、建築史料や現存する建築、遺構等に脚足を運ぶ行動に繋げることができる。建築の歴史を理解する視点について説明ができるようになり、建築史学の考え方を理解することで、さまざまな建築の事象を建築学的に分析ができる。各建築物の特徴に即した調査研究活動を実施することができる。	○				
基幹科目	BSM311014	建築システム論	2	1	必修	代表的な建築構造物の特徴、部位・部材の名称や役割などを説明できる。	○	○			
基幹科目	BSM311016	建築材料	2	1	必修	建築学の専門科目に向けての基礎的知識を修得し、専門用語の理解とその機能を理解できる。また、建築士試験科目を見据えた基礎的学力を修得できる。	○	○			
基幹科目	APT312003	建築設計演習 I	2	2	必修	木造の設計図面の描写や技法が製図規約に従って表現され、それぞれの建築を創造・設計する意図が正しく、明確に伝えることができる。	○	○			
基幹科目	APT312004	建築設計演習 II	2	2	必修	2軒の住宅について、魅力ある空間、建築を設計し、そのプランニングの意図を正しく明確に図面に描くことができる。	○	○			
基幹科目	APT312006	建築計画 I	2	2	必修	建築の基本原理解を知ることで建築に対する興味が広がり、建築の仕事の魅力とやり甲斐を会得する。また、建築士試験の建築計画科目の設問に対する理解と解く力を養うことができる。		○			○
基幹科目	APT312007	建築計画 II	2	2	必修	各種施設を対象に、その施設はどのような特徴的なはたらきをもつ施設であるか(基本事項)、社会状況によって施設の役割も変化してきたのか、今後その施設のあるべき姿について考察する力を身につけ、それぞれの設計活動に援用できる。		○			○
基幹科目	AEN312011	建築設備 I	2	2	必修	住宅建築の各設備の必要性を理解した上で、仕組みを知り、用途に合った設備を計画・作図表現ができる。	○	○			
基幹科目	APT313008	福祉環境計画論	2	2	必修	高齢者・障がい者が多く暮らす疾病やこれに伴う心身の特性を理解し、生活上の不便、不都合を知ることで生活空間の計画・設計上の配慮点を理解できる。また、バリアフリー、ユニバーサルデザインの知識を理解し、それに基づいて建築計画することができる。	○	○	○		
基幹科目	BSM312012	建築構造力学 I	2	2	必修	建築構造物に起きている力学的諸現象がイメージし、把握できる。力の釣り合いを理解し、静定ばり・静定ラーメンなどの支点反力・応力を計算して断面力図を描くことができる。建築施工管理技士・建築士の構造力学分野の問題を解くことができる。	○	○			
基幹科目	BSM312013	建築構造力学 II	2	2	必修	建築構造物に起きている力学的諸現象がイメージし、把握できる。弾性状態における応力とひずみの関係を説明でき、それらを計算できる。断面の力学特性を理解し、断面諸量を計算できる。建築施工管理技士及び建築士程度の問題が解けるようになる。	○	○			
基幹科目	APT312018	建築法規 I	2	2	必修	建築関係法令の全体像を把握して、建築基準法の概要及び使用される重要な用語の意義・定義を理解できる。基準法の中でも、人々の生活に密接な係わりを持つ・敷地・構造・建築設備・建築環境に関する条文を理解できる。	○		○		
基幹科目	APT312019	建築法規 II	2	2	必修	建築基準法に定める集団規定の持つ意義や規定を理解し、都市デザインに密接な係わりを持つ道路と敷地・用途地域・各種高さ制限などに関する条文を理解できる。	○		○		
基幹科目	AEN313010	建築環境 I	2	3	必修	空気、熱、光、音が建築物に与える影響を知り、建築物の配置計画、平面計画を実施する際の建築計画の基本となる知識として身につけ、応用できる。	○	○	○		
基幹科目	BSM313015	鉄筋コンクリート構造	2	3	必修	鋼材とコンクリート材料をどのように活かしているかを把握した上で、鉄筋コンクリート構造の構造計画、許容応力度設計法などの基本的な設計原理を修得する。鉄筋コンクリート構造の仕組み・名称・規準などが理解できる。軸力や曲げを受ける部材の性状を理解し、各部材断面の設計ができる。	○	○			
基幹科目	BSM313017	建築施工	2	3	必修	設計図書には詳しく表現されていない建築施工の各工程を学び、施工管理者としての実務に向けた知識と建築士ならびに建築施工管理技士試験を見据えた学力を修得できる。	○	○			
基幹科目	APT314020	都市計画	2	3	必修	めまぐるしく変化する社会や都市の将来を見据え、働く機会と生活する場所が確保され、平和で安全に、そして安心して暮らすことの出来る都市がどのように形成され今後どのような方向を目指すのかを理解し、これからの都市を計画立案するための基礎能力を身につけることができる。			○		○
展開科目	APT321033	図学(建築図学を含む)	2	1	選択	図学を学習することで、2次元の図から3次元をイメージすることができる。	○	○			

展開科目	APT322034	CAD演習 I	1	1	選択	2次元CADを使い、自分で計画した建築物が手描き図面のように、自由自在に使えるための基本操作と作図手順を行うことができる。	○	○				
展開科目	AHD321039	建築表現 I	1	1	選択	平面系の建築表現に必要な道具の基本的使い方を習得する。また時間内に課題を製作するための時間配分、期限内に課題を提出するという自己管理及び基本姿勢を身に付けることができる。	○					○
展開科目	AHD321040	建築表現 II	1	1	選択	立体系の建築表現に必要な道具の基本的使い方を習得する。また時間内に課題を製作するための時間配分、期限内に課題を提出するという自己管理及び基本姿勢を身に付けることができる。	○					○
展開科目	MAT321044	建築士のための基礎数学	2	1	選択	建築士試験に必要な数学の基礎知識である計算力、単位、方程式、三角関数、因数分解及び図形を修得する。さらに、それらのことを通して、数学において重要なのは答えだけではなく、思考過程であることも理解し、習慣づけることができる。		○				
展開科目	SOF321045	プレゼンテーションツール I	1	1	選択	基本的なデジタルプレゼンテーションツールを自在に操ることができる。	○	○				
展開科目	SOF321046	プレゼンテーションツール II	1	1	選択	コンピュータを使用した画像の編集や変換について修得し、複数のソフト・アプリを駆使したデジタルな表現を自由自在に展開できる。	○	○				
展開科目	AEA321048	色彩環境論	2	1	選択	授業の内容をよく理解し、制作に活かすことができるようにすること。受験希望者以外も含めて、カラーコーディネーター検定試験スタンダードクラス合格者と同等程度の知識を獲得することができる。		○				
展開科目	APT321047	住空間計画	2	1	選択	社会・家族・生活という関係性を常に意識しながら間取りをもとに住宅の存在を考察する。価値観をはじめ、家族形態がますます多様化する社会における住宅とは、住まいとはについて理解するために間取りを読み取ることができる。	○			○		
展開科目	HLS321049	インテリア表現基礎	2	1	選択	室内空間や家具のデザインイメージを自由に描け、相手に伝えられる描写手法を実施する。	○					
展開科目	IRE321072	アクションプログラム I	1	1	選択							
展開科目	IRE321073	アクションプログラム II	1	1	選択							
展開科目	BSM322028	建築材料実験	1	2	選択	JIS規格試験から材料実験の意義・実験法を理解し、実験データのまとめ方、実験報告書の作成ができる。	○	○			○	
展開科目	APT322035	CAD演習 II	1	2	選択	3次元CADを使い、自分で計画した建築物が手描き図面のように作図できる。	○					○
展開科目	APT323036	CAD演習 III	1	2	選択	3次元CADで、3次元作図とアニメーションの基本的な操作までできる。	○	○				
展開科目	AHD322041	建築表現 III	1	2	選択	建築用途・建築形態に対し、建築要素をどのように取り入れデザインしていくかを考慮し、どのように表現するかが求められる。各シリーズとも3課題ごとに講評会を実施するが、作品に対するさまざまな評価から自己の作品に対する客観視できる能力を養うことができる。	○					○
展開科目	AHD322042	建築表現 IV	1	2	選択	立体表現の基礎技術力ならびに応用力を養うとともに、表現の対象となる有名建築作品、設計者(建築家)の考え方について理解を深めることができる。	○					○
展開科目	DES322053	デザイン概論	2	2	選択	分からないことについて調べることができる。調べたこと、見聞したことに対し、自分の意見を表現し、深めることができる。自分の意見を他者と共有し、議論することができる。	○	○				○
展開科目	HLS322050	インテリアデザイン I	2	2	選択	学生がインテリア製図表現としての、(最低限の)平面図、室内断面図、室内展開図等の基本の表現を身に付けることができる。				○	○	○
展開科目	AEN322057	ユニバーサルデザイン演習	2	2	選択	疑似体験により介助される側、介助する側としての両立場を理解する。生活空間のあり方に対して自分なりの考えを見つけるきっかけとなり、身の回りにおける製品・商品および空間に対する理解、ユニバーサルデザインの視点からの建築空間・都市空間の評価、改善計画の提案とその発表する能力を養うことができる。					○	○
展開科目	IRE322074	アクションプログラム III	1	2	選択							
展開科目	IRE322075	アクションプログラム IV	1	2	選択							
展開科目	APT323021	建築設計演習 III	2	3	選択	小規模建築の主要条件、付帯条件を満たし、建築関係法規に則った計画に、設計者の考え方設計主旨を盛り込み、その内容をわかりやすく表現する建築計画とプレゼンテーションができる。		○	○			
展開科目	APT323022	建築設計演習 IV	2	3	選択	大規模建築の主要条件、付帯条件を満たし、建築関係法規に則った計画に、設計者の考え方設計主旨を盛り込み、その内容をわかりやすく表現する建築計画とプレゼンテーションができる。		○	○			
展開科目	AEN323025	建築設備 II	2	3	選択	大規模建築で必要とされる設備の計画ができ、それを正確に図面で表すことができる。	○	○				
展開科目	AEN323024	建築環境 II	2	3	選択	建築計画上の物理的基礎として、熱貫流の3つの過程、音波の基本的性質や音の強さ、湿り空気の性質を理解できる。	○					
展開科目	BSM323026	建築構造力学 III	2	3	選択	簡単な不静定構造物の合理的かつ経済的な設計ができる。梁の変形、応力法、変位法について説明できる。	○	○				
展開科目	BSM323027	鋼構造	2	3	選択	鋼材の種類と記号を学び、引張材、圧縮材など部材設計の基本事項を修得し、簡単な計算例を通してボルト接合、高力ボルト接合、溶接接合による部材接合部の設計ができる。	○	○				
展開科目	APT323031	建築法規 III	2	3	選択	建築基準法に定める性能評価基準の持つ意味・定義を理解でき、都市防災に密接な係わりを持つ構造・計算・防火・避難などに関する条文を理解できる。	○			○		
展開科目	APT323032	建築法規 IV	2	3	選択	都市計画法の建築基準法に関連する規定や、建築士法および建設業法の建築基準法に関連する規定、その他の建築関連法規に関する規定を理解することができる。	○			○		
展開科目	BSM323029	建築生産	2	3	選択	建築施工に重要な各工事に着目し生産技術を学ぶことで、設計や施工の実務に向けた知識と建築士ならびに建築施工管理技士を見据えた学力を修得できる。	○	○				
展開科目	APT324038	建築の職能と倫理	2	3	選択	このプログラムをもとに建築技術者としての判断力の基礎となる知識を身に付けるとともに、そのもととなる人間としてのモラルを醸成させ、技術者としてのモラルまで発展させることを養う。そこから技術者としてより上位の判断力、対応能力に結び付けていくための契機とすることを目指すものである。				○	○	
展開科目	AHD323043	建築表現 V	1	3	選択	建築表現や模型の基本的な技術はすでに習得していることを前提として、道具・材料の選択から表現方法まで、模型による多様な表現能力の向上を、空間構成では製図ペンをを用いた表現能力修得と透視図技法の理解することができる。	○					○
展開科目	GIE323037	測量学	2	3	選択	建築に必要な基本的測量知識の修得ができる。	○	○				
展開科目	SEM324058	施工管理技士演習 I	1	3	選択	国家資格である「二級建築施工管理技士」の学科試験合格できる学力を備えることができる。	○	○				
展開科目	PHY322055	応用物理	2	3	選択	ベクトル量の基本演算を理解しており、外力の影響がある場合の物体の運動状態について説明できる。また、固体にかかる力のつり合いの式を立てることができる。	○	○				



自由科目	ESS343101	生徒・進路指導論	2	選択	生徒指導・進路指導・キャリア教育の意義や原理及び今日的な課題、望ましい指導体制、家庭や関係機関との連携の在り方、主体的・対話的で深い学びを実現する指導の進め方を理解し、効果的な授業を実践することができる。		○		○	
自由科目	SNE342102	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2	課程必修(教職課程)	特別支援教育制度の概要と特別支援学校の教育課程並びに個別の教育支援計画の作成の意義や学習指導要領、特別支援教育コーディネーターの設置義務とその役割等、特別支援教育の推進について理解することができる。併せて、各障害の特性に即した自立活動の在り方について理解することができる。		○		○	
自由科目	ESS343103	総合的な学習の時間の指導法	2	選択(教職課程履修者は課程必修)	総合的な学習の時間の意義や目標等をはじめ、指導計画の作成や指導と評価の考え方、実践上の留意点について理解できる。		○		○	
自由科目	SNE344104	介護等体験指導	1	課程必修・選択	特別支援学校に在籍する児童生徒の特徴を知り、特別支援教育の意義を述べるとともに、社会福祉施設の利用者の特徴を知り、社会福祉施設の役割を述べることができる。		○		○	
自由科目	ESS343105	学校インターンシップ(学校体験活動)	1	必修	学校において一定量の体験活動を行うことにより、学校教育の実感を総合的に理解することができる。		○		○	
自由科目	EDU344106	教育相談(カウンセリングを含む)	2	課程必修	不適応行動や問題行動の児童生徒を正しく理解し、適切な対応をするための教師としてのカウンセリング・マインドの態度や方法について基本的な知識・能力を身につける。		○		○	
自由科目	EDU343107	教育実習(事前・事後指導)	1	課程必修	「教育実習」の目的・意義を理解し、生徒の実態や教科の目標・特性に応じた学習指導案を作成することができる。				○	
自由科目	EDU244108	教育実習 I	4	課程必修	中学校等での教育実習を経験することにより、教師として必要な最低限度の基礎的知識や技術を修得することができる。				○	
自由科目	EDU344109	教育実習 II	2	課程必修	高等学校での教育実習を経験することにより、教師として必要な最低限度の基礎的知識や技術を修得することができる。				○	
自由科目	EDU344110	教職実践演習(中・高)	2	課程必修	教員に求められる必要不可欠な資質能力、更に本学が掲げる教員養成理念に基づく必要な資質を身に付けることができる。				○	